

令和4年 第11回

宮崎市教育委員会（定例会）

会 議 録

公 開 部 分

令和4年 第11回宮崎市教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 令和4年11月16日(水) 13:40～15:00
- 2 場 所 教育委員会室
- 3 出席者 **【教育長・教育委員】**
 西田教育長、松尾代表教育委員、畠山委員、片山委員、小林委員
【事務局】
 迫田教育局長
 (企画総務課) 川邊課長、堀室長、佐藤主任主事、河野主事
 (学校施設課) 河野課長
 (学校教育課) 重盛課長
 (教育情報研修センター) 堀之内所長
 (生涯学習課) 長田課長
 (保健給食課) 井上課長
 (文化財課) 白坂課長
 (スポーツランド推進課) 益田課長、日渡主任主事

4 議 案

番号	件名	説明者
議案第40号	令和4年度一般会計補正予算案の原案について	教育局長 企画総務課長 学校教育課長 教育情報研修センター所長 生涯学習課長 保健給食課長 文化財課長
議案第41号	宮崎科学技術館の指定管理者の指定の原案について	生涯学習課長
議案第42号	大淀川学習館の指定管理者の指定の原案について	生涯学習課長
議案第43号	宮崎市生目の杜遊古館他2施設の指定管理者の指定の原案について	文化財課長
議案第44号	宮崎市安井息軒記念館の指定管理者の指定の原案について	文化財課長

5 報 告

番号	件名	説明者
報告第44号	臨時代理の報告について	教育局長 企画総務課長 学校施設課長 文化財課長
報告第45号	令和4年第8回宮崎市議会臨時会（11月）の報告について	教育局長
報告第46号	新型コロナウイルス感染症に係る対応について	教育局長

西田教育長	<p>それでは、定刻になりましたので、ただ今から、第11回教育委員会定例会を開会します。本日の傍聴者は、ありません。</p> <p>会次第「2 会議録署名人の指名」です。本日の会議録の署名人は、私西田と、畠山教育委員を指名させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
委員	異議なし。
西田教育長	<p>会次第「3 行事報告等」に入らせていただく前に、進行の都合上、資料17ページ「5 その他」の報告事項「(1) トップアスリート発掘・育成事業の第6期生選考について」、スポーツランド推進課から説明をお願いします。</p>
益田スポーツランド推進課長	<p>スポーツランド推進課課長の益田です。「トップアスリート発掘・育成事業の第6期生選考について」、ご説明します。</p> <p>2027年に本県で国民スポーツ大会が開催されることが今年、内定しました。宮崎市でも先週の11日（金）に、準備委員会を設立し、開催準備に向けて作業を進めているところです。</p> <p>本事業は、2027年に本県で開催予定の国民スポーツ大会を見据え、将来的に全国規模の大会等で活躍できる選手を本市から発掘・育成することを目的に、平成28年度より実施している事業です。</p> <p>なお、この大会は現在、「国民体育大会」という名称ですが、2024年に開催される佐賀大会から、名称を「国民スポーツ大会」、略称を「国スポ」に変更することが決定していますので、本県で開催される大会も「国民スポーツ大会」ということとなります。</p> <p>資料の「2 事業概要」をご覧ください。小学校4年生から6年生の児童を対象に、各学校で実施される「新体力テスト」の成績で一次選考と運動適性テストによる二次選考を実施し、育成選手の認定を行います。</p> <p>日程については、中学3年生までの間に月1回程度、サイバートレーニングや競技体験プログラム、また、保護者を対象にした栄養学の講座等を実施します。平成28年度から現在までに276名の選手を認定し、中学を卒業した選手を除き、現在は171名の登録選手が在</p>

	<p>籍しています。</p> <p>5年後の国民スポーツ大会を見据えた事業であるため、令和4年度、本年度が最後の認定となります。今回は、5、6年生の児童をそれぞれ20名程度認定する予定です。</p> <p>全体の流れは、「2 事業概要」の下部に記載していますので、ご確認ください。</p> <p>資料の「3 一次選考（新体力テストの結果による選考）」ですが、選考基準としては、各学校から県に提出された新体力テストの結果をもとに成績上位者を選考します。選考された児童と保護者に対して、学校長を通じて二次選考の案内を送付し、参加承諾書の提出をお願いしています。なお、本年度については昨日、15日付で文書を発送したところです。</p> <p>「4 二次選考（運動適性テストによる選考）」をご覧ください。二次選考については承諾いただいた児童を対象に、12月10日（土）に生目の杜運動公園体育館で運動適正テストを実施し、その結果をもとに、第6期生として40名程度認定することとしています。</p> <p>結果の通知は、12月下旬頃に案内する予定です。その結果、令和5年1月に第6期生の認定式と、現在の他育成生と一緒に1回目のトレーニングを行い、活動を始めます。</p> <p>先ほど申し上げましたように、今回が最後の選考です。今回選考する児童が中学3年生になるまでの令和8年度、つまり国民スポーツ大会の前年度まで、適性の育成を続けていきますので、引き続きのご協力をお願いしたいと思います。説明は以上です。</p>
西田教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいまの説明に対して、ご質問はございませんか。</p>
委員	なし。
西田教育長	<p>スポーツランド推進課長、ありがとうございました。</p> <p>それでは、会次第「3 行事報告等」に入ります。1ページをお開きください。「(1) 教育長報告」ですが、こちらに記載のとおりです。</p> <p>5ページをご覧ください。11月1日（火）から2日（水）にかけて「令和4年度第2回宮崎県都市教育長協議会」が行われました。</p> <p>11月1日の協議会は、小林市で3年ぶりに開催されました。内容は、役員の改選や令和6年度文教に関する国の施策並びに予算についての陳情、また、令和5年度に係る全国、九州都市教育長会等の協議会に関して諮られました。ほか、会員市の会費負担金や教育行政の課題について協議を行ったところです。夜には会員市の皆様との懇親会があり、様々な話を伺うことができました。</p> <p>翌日は、小林市から是非視察していただきたいというお話があり、霧島岑神社を訪ねました。</p> <p>また、プラスチックのオーダーメイド加工を請け負っている株式会社ミヤザキを視察しました。山之上社長が埼玉県で創業し、小林市に工場を新設して以降、現在では全国ナンバーワンといえる規模に成長したことなど、様々なお話を伺いました。工場も見学しましたが、工場内が非常に綺麗で、職員の挨拶等も素晴らしく、しっかりと人材育成に取り組んでいらっしゃるという印象を強く受けたところです。職員は、西諸県郡や小林市在住者からよく採用するというので、20代の方々も多く、活気がある会社でした。大変勉強になりました。</p> <p>次に、資料の6ページをご覧ください。11月10日（木）に東京</p>

	<p>都新橋で「令和4年度全国都市教育長協議会第4回常任理事会・理事会合同会議」が行われました。内容は、役員の選任や今後の手続きについてなどが諮られました。ほか、国への要望や、帯広で予定されている来年度の全国大会について説明を受けたところです。</p> <p>理事会も同様に開かれ、文部科学省の講演については、文化庁とスポーツ庁所管の部活動の地域移行について説明がされましたが、これまでに聴いた説明から大きな変更はないようでした。</p> <p>それでは、続きまして「(2)委員報告」のうち、10月28日(金)に行われた「宮崎県市町村教育委員会連合会第3回理事会」、「宮崎県教育委員会との意見交換会」、「令和5年度宮崎県市町村教育委員会連合会研究大会」について松尾代表教育委員からご報告をお願いします。</p>
松尾代表教育委員	<p>第3回理事会は、資料3ページに記載されている項目について協議し、全て承認いただきました。</p> <p>次に、県教育委員会との意見交換会については、「児童生徒数減少に伴う学校体制の整備について」、「部活動の適切な運営に向けた環境整備について」、「教育の情報化に対する支援の充実について」の3つのテーマに沿って、それぞれの市町村が抱える課題や現状、それに対する県の取組と現状について意見交換を行いました。</p> <p>午後の研究大会では、県の黒木教育長に開会行事の来賓として出席いただき、その後に日向市教育委員会と諸塚村教育委員会の研究事例発表を拝見しました。神野教育CIOによる講演会は、非常に新鮮な切り口で、聴いていて大変わかりやすかったです。説明は以上です。</p>
西田教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、令和4年10月31日(月)から11月1日(火)にかけて行われた「令和4年度市町村教育委員会研究協議会(第2ブロック)」について、概要は、4ページに記載しているとおりです。</p> <p>参加された松尾代表教育委員、片山教育委員、小林教育委員にそれぞれご感想を伺います。まず、小林教育委員よりお願いします。</p>
小林教育委員	<p>総括しますと、参加されたパネラーの方々の熱量が強く感じられた会でした。私は、第1分科会「地域総がかりで子どもを育むための教育力向上について」に参加しました。その中で、島原市教育委員会が「三三七拍子の三は、親の役割が三つ、家庭の役割は三つ、そして基本的な生活様式の七つ」という三三七拍子の合言葉をイラスト付きでまとめた資料を配布し、この合言葉を共有したいという思いをお話しされていました。島原市では社会教育課が中心になって、このような象徴的なものを提示して、それを教育の中に巻き込んでいったそうです。家庭と学校をいかに連携させるかという課題に対し、様々なアイデアを持って取り組まれているのだと感じました。</p> <p>他にも、参加者の皆様が熱くそれぞれの思いを語っていらっしゃるのが大変印象的でした。以上です。</p>
片山教育委員	<p>各自治体の教育長から、それぞれ特色のある取組について伺いましたが、特に私の心に残ったのは、2日目の第2分科会「不登校児童生徒への支援の在り方について」で伺った京都市教育委員会の事例です。</p> <p>京都市のこども相談センターパトナ、洛風中学校や洛友中学校について、私がこれまで不登校の子ども達と関わってきて、こういう場所があればよいと思い描いていたような場所だと感じました。このような施設があれば、子どもだけでなく、支援者や教師等も大変助かるだろうと思える実践をされています。このような施設は宮崎市にもあり</p>

	<p>ますが、現状として、各施設が点と点のように存在しているように感じているので、京都市のようにそれらが線として繋がるような連携ができるとう理想的だと思いました。</p> <p>京都市の取組で最も大切なコンセプトは、「一人一人を徹底的に大切にすることだそうで、その実践例は、実際に子どもという存在が尊重され、一人一人が確かに大切にされていることが強く感じられるものでした。</p> <p>また、現在はGIGAスクール構想により、タブレットが広く子ども達に行き渡っていて、自宅でのリモート学習環境が整っています。そのため、「自宅で勉強ができるのなら、人間は楽な方、労力の少ない方向に進みがちなので、現在不登校ではない子ども達もわざわざ学校に行かなくてもよい、自分が学校に行かなければいけないのは不公平だと考えるのではないか、家庭学習で事足りるなら学校は必要なのだろうか」という意見が出ました。</p> <p>このことについて、京都市教育委員会で不登校児童支援に携わっている心理士の方が、主観にはなるけれども、と前置きをして次のようにお話しされていました。「不登校の子どもは、本当は学校に行きたいと思っています。やはり学校は必要で、何らかの不公平感を感じる子どもがいるのなら、その要因がリモート授業以外にもあるはず。子ども自身が、自分はどれだけ大切に思われているかをいかに実感できるか。教育現場で、不登校児童に限らず、いわゆる『普通』とされる子ども達も一人一人大切にすること。その基本に立ち返ることが重要ではないでしょうか」ということで、私も非常に共感しました。このことは、立ち返るべき特別支援教育の基本でもあると思います。</p> <p>このことに付随しますが、今回の協議会后に別件で千葉に行くことがあり、そこで、「子ども達を愛するだけでは足りない。愛している、大事に思っていると言っても、子どもにはわからない。実際に子どもが愛されていると感じられるように伝えなければ意味がない」という言葉を伺いました。まさしく、特別支援教育においても重要なことではないかと感じたところです。以上です。</p>
<p>松尾代表教育委員</p>	<p>私も、第1分科会「地域総がかりで子どもを育むための教育力向上について」に参加しました。</p> <p>様々な自治体の教育長が、少子高齢化が進んでいる中で地域の活性化、あるいは地域創生をどのように図っていくかということが喫緊の課題であるとおっしゃっていました。その解決のための具体的な手法や実践は、自治体によって若干の違いがありました。</p> <p>学校におけるふるさと学習やふるさと教育を中心に据えたり、あるいはコミュニティ・スクールを活用したり、地区公民館の活動を主にして学校と連携したりなど、様々な手法はあるにしても、同じ課題に向けて、地道に、しっかりと取り組んでいけないといけない課題だと実感しました。</p> <p>その中で、コミュニティ・スクールを通した課題解決というもの、なかなか協議の中心になりませんでした。その背景には、やはり各県、各市町村のコミュニティ・スクール導入が思うように進んでいないことと、実際にどのように活用すればよいかということ、それらを持ち合わせた情報に差があるためではないかと思われま。そのため、コミュニティ・スクールを活用した地域の活性化という手法は、協議の中心にならなかったのではと感じたところです。</p>

	<p>また、文部科学省の国立教育政策所に勤める方からの助言として、「地域の活性化について一番手っ取り早い方法は、子ども達への教育ではないか」と言われたことが、今でも心に残っています。</p> <p>今週の月曜日に「令和4年度 宮崎市男女共同参画社会づくり推進審議会」に参加し、今年、男女共同参画社会づくりについての意識調査がされたと伺いました。回答者について、30代以下、30代、40代、50代、60代以降、と年代を分けて集計を出してはいたのですが、人権意識や男女共同参画社会に向ける意識が最も高かったのが、30代以下の年代であることがわかりました。このことは、学校教育が果たした役割が非常に大きいということを私から申し上げました。</p> <p>逆に言うと、学校教育が果たす役割は大きいので、何らかの意識づけや気付きについてしっかりと教育現場で伝えていくことは、家庭への波及効果もあり、また、子ども自身が大人になったときに地域や社会に還元できる力の育成に繋がるのではないのでしょうか。ですから、確かに子どもの教育へ投資していくことが、地域の活性化のために手っ取り早い方法なのかなと思いました。勿論、子ども世代以外にも、各世代別に実行すべき施策が他にもあると思いますが、やはり、学校教育への期待や可能性を強く感じるところです。</p> <p>あわせて、コミュニティ・スクールのあり方についても、学校や地域の課題を、様々な立場の人が協議の場に入って、話し合うことが大きな進歩に繋がるのではないかと考えたところでした。したがって、今後の宮崎市のコミュニティ・スクールの動向についても期待したいと思ったところです。以上です。</p>
西田教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、「(3) 教育局長報告」ですが、「令和4年第8回宮崎市議会臨時会(11月)」については、後ほど議事の中で報告をお願いします。</p> <p>続きまして、「(4) 各課行事報告等」はこちらに記載のとおりです。このうち、「①学校教育課」の11月6日(日)に行われた「小学校運動会」について、報告をお願いします。</p>
重盛学校教育課長	<p>11月に行われた「小学校運動会」について報告します。11月6日(日)の運動会は、大淀小学校及び鏡洲小学校の2校が感染防止対策を講じた上で、午前中に開催しています。大会は、保護者や地域の方々が見守る中、盛大に進行し、大きなけが等もなく、目的を達成できました。なお、多くの小学校が、10月に運動会を実施しています。</p> <p>令和4年度の小・中学校の運動会、体育大会は、72校すべて無事に終了しています。以上です。</p>
西田教育長	<p>ありがとうございました。それでは、これまでの報告に対する質問や、お気づきになった点がありましたら、お願いします。</p>
小林教育委員	<p>先日、新聞でも紹介いただきましたが、住吉南小学校4年生の全児童約80名と、宮崎大学の学生の7名が、プログラミングに係る授業を一緒に行いました。授業には、企画総務課から3名、市教育情報研修センターから2名の職員にも参加していただきました。</p> <p>このプログラミング教育は、この授業以降も継続して実施されています。恐らく住吉南小学校がSTEAM教育として研究熱心に取り組んでいるため、4年生の学年全体で組織的な展開ができているのだと思いますが、現在では、授業の他にも、地域の方々を招いた発表会や、防災に自分達の学んだプログラミングがどのように役立つのかというプレゼンを実施しているようです。</p>

	<p>私は、今後の宮崎市のSTEAM教育のモデルの一つとして、この住吉南小学校4年生の事例を、うまく広げていけるとよいのではないかと大変期待しています。</p> <p>住吉南小学校では、遠足途中の経路で防災倉庫を視察に入れる工夫もされたそうです。また、9月の台風の際に避難場所に住民が殺到したためにすぐに定員に達してしまったという子ども達自身の経験から、避難所の定員状況がプログラミングによってリアルタイムで把握できるとよい、という視点での発表も見られました。</p> <p>子ども達が生活に密着したところを考えられるようになっていくことで、大変期待が大きく、是非皆様にも注目していただきたいところです。以上です。</p>
西田教育長	<p>資料の「④文化財課」の行事報告にある、住吉南小学校で行われた「蓮ヶ池史跡公園開園30周年記念シンポジウム」では、子ども達がボランティアで活動を行っていましたね。白坂文化財課長、お話を聴かせてください。</p>
白坂文化財課課長	<p>11月12日(土)は、住吉南小学校を中心として、朝から様々な活動を行いました。運営にあたって、今年度から住吉小学校の6年生のうち、朝の部で約20名、昼の部でシンポジウム等の司会等をお願いした関係で約10名から20名、おおよそ全体で40名の児童に協力していただきました。</p> <p>子ども達自身が、来年イベントに参加する子どもに接し、大人視点ではなく、子ども同士の会話によってイベント内容をわかりやすく説明してくれていて、参加した皆様からも良いイベントだったという声がありました。子どもが中心になって動いていくイベントというのなかなか趣深いと感じたところです。</p>
西田教育長	<p>ありがとうございました。その他に何かありませんか。</p> <p>なお、「さどわら青少年健全育成大会」には、私も出席して、子ども達の意見発表を聴きました。その意見発表のレベルが高く、また、テーマについても、学校の総合の授業で学んだSDGsに関連したものや、自分の生き方についてなど、学校の指導や地域活動の強さにしっかり根づいた形で子ども達が考えながら実践していることを感じられて、非常に嬉しく思いました。</p> <p>それでは、「4 議事」に入らせていただきます。7ページをご覧ください。本日、議案が5件です。</p> <p>まず、議案第40号「令和4年度一般会計補正予算案の原案について」は予算案に関する議案で、次の議案第41号から第44号までは、指定管理者の指定に関する議案です。こちらについては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項により、非公開としたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>異議なし。</p>
西田教育長	<p>それでは、これより非公開とします。</p>
西田教育長	<p>それでは、ここで非公開を解除します。</p> <p>以上で、議案は全て承認されました。続きまして、13ページをご覧ください。本日、報告が3件です。始めに、報告第44号「臨時代理の報告について」、事務局から説明をお願いします。</p>
迫田教育局長	<p>それでは、報告第44号「臨時代理の報告」について、説明します。</p> <p>本来、教育予算について議会に諮る前に教育委員会にて承認を得なければならないものですが、急を要することから、宮崎市教育委員会</p>

	<p>事務委任規則第4条に基づき議会に提案し、宮崎市11月臨時議会にて承認を得たものになります。</p> <p>事後報告となりますが、「当日配布 報告第44号 別紙1」を使って説明します。別紙1をご覧ください。歳出について、「小学校管理運営費」ほか計5件で、合計1億6,463万5千円を計上しています。</p> <p>なお、今回計上した「小学校管理運営費」及び「教育関連施設災害補助復旧事業」については、台風14号による被害の復旧に係るものとして、国の補助制度を活用する予定で、補助率は2/3です。概要については以上ですが、詳細について、担当課から説明します。</p>
川邊企画総務課長	<p>それでは、企画総務課の事業について説明します。「当日配付資料 報告第44号 別紙2」の「主な補正の概要」をご覧ください。</p> <p>1段目の「小学校管理運営費」、593万5千円の1件です。</p> <p>この事業は、台風14号によって被災した赤江小学校の屋内運動場（体育館）の物品関係の復旧にかかる経費です。ステージ側の外壁が破損したことにより、ステージに設置しているピアノや緞帳が雨風による被害を受けました。また、ステージ下にある倉庫が水没し、保管していたパイプ椅子の一部が使用不能となっています。それらの早急な復旧を行うため、ピアノの修繕費、緞帳、パイプ椅子の購入費用を補正予算として計上したものです。説明は以上です。</p>
河野学校施設課長	<p>学校施設課からの11月補正予算案は、2事業あります。</p> <p>「当日配布 報告第44号 別紙1」の「令和4年度一般会計補正予算案（11月補正）」をご覧ください。一番下の段、「60 災害復旧費 20 その他災害復旧費 10 教育施設災害復旧費」に計上されている1億5,300万円の全てが学校施設課分です。</p> <p>次に、「当日配付資料 報告第44号 別紙2」の「主な補正の概要」をご覧ください。下から2段目、「教育関連施設災害補助復旧事業」として8,500万円を、一番下の段、「教育関連施設災害単独復旧事業」として6,800万円を計上しています。いずれも台風14号によって被災した市立小中学校施設の復旧に係る予算です。</p> <p>まず、「教育関連施設災害補助復旧事業」は、強風により破損した赤江小学校の屋内運動場（体育館）の外壁と、それにより打ち込んだ雨風により、破損した外壁や床・壁等の内装の復旧工事を行うものです。こちらは文部科学省の補助である「公立学校施設災害復旧費国庫負担制度」を活用します。</p> <p>次に、「教育関連施設災害単独復旧事業」は、赤江小学校屋内運動場の復旧工事以外の学校施設の復旧にかかる費用です。被害は、全ての小・中学校で発生していて、倒木・折れ枝の処理35件、防球フェンスなどの工作物や渡り廊下の屋根、校舎等の壁の破損箇所61件等の復旧工事を行います。学校施設課の説明は以上です。</p>
白坂文化財課長	<p>文化財課分の補正予算案の内容について、「当日配付資料 報告第44号 別紙2」の上から3段目、4段目をご覧ください。</p> <p>令和4年9月の台風14号による災害復旧に係る補正予算です。</p> <p>「文化財保護調査管理費」は、330万円の増額補正です。今回の台風により、文化財指定地内各所で倒木が発生し、特に国指定史跡である、生目古墳群、佐土原城跡、穆佐城跡、高岡の月知梅の4ヶ所での倒木と、市指定文化財である、島津家久・豊久公墓と小村薬師堂など4ヶ所の倒木処理を行うための補正予算でして、委託により倒木の処分を行うための補正予算です。</p>

	<p>次に、「歴史資料館改修事業」、240万円の増額補正ですが、佐土原歴史資料館鶴松館の玄関口にある柿茸<small>こけらぶき</small>がいくつも剥がれ、雨漏りが生じていることから、柿茸が飛ばされぬように養生をし、雨漏りを防ぐ費用として、委託により復旧処理を行うための補正予算です。</p> <p>文化財課は、この2事業、合計570万円の委託料の増額補正予算要求を行いました。説明は以上です。</p>
西田教育長	<p>ただいま説明のありました、報告第44号について、ご質問はございませんか。</p>
小林教育委員	<p>赤江小学校については特に大変な状況だと思いますが、復旧工事完了の目途は立っているのでしょうか。</p>
河野学校施設課長	<p>外壁の工事は、緊急工事として対応し、すでに完了しています。</p> <p>現在、復旧の設計委託を進めていまして、概ねまとまりつつあるところですが。工事の着手について、12月中には業者を選定して、卒業式までに工事を完成させることは難しいけれども、式典が行える程度には復旧工事を進め、卒業式には支障がないようにしたいという目標を掲げています。</p>
西田教育長	<p>他にないようでしたら、次に、報告第45号「令和4年第8回宮崎市議会臨時会（11月）の報告について」事務局から説明をお願いします。</p>
迫田教育局長	<p>ただいま説明しました臨時代理の報告に係る「令和4年第8回宮崎市議会臨時会（11月）について」の報告です。</p> <p>本日配布している「当日配付 報告第45号 別紙1」の「令和4年第8回宮崎市議会臨時会（11月）の概要」をご覧ください。</p> <p>まず、会期については、令和4年11月4日から11月7日に開催され、上程した議案に対する議決が行われました。教育委員会関連の議案としては、『議案第115号 令和4年度宮崎市一般会補正予算（第11号）案』の1件で、賛成多数で可決されています。</p> <p>なお、議案の可決にあたり、文教民生委員会委員長報告の中で意見・要望がありましたので、教育委員会関連のみ、ご説明します。</p> <p>まず、「教育関連施設災害補助復旧事業」について、「本事業は、台風第14号によって被災した施設の早期復旧を図るため、赤江小屋内運動場の復旧工事を行おうとするものであります。審査の過程において、積算根拠に関する説明がなく、質疑を行わないと分かりづらい部分が見受けられたため、当局においては丁寧な説明に努められたい」との意見・要望でした。</p> <p>次に「審査全体」につきまして、「災害復旧に関する事業など、審査の過程において、事業内容及び内訳に具体的な資料が不足している部分が見受けられました。当局においては十分な議案審査が行えるよう、あらかじめ事業内容及び内訳が分かる資料の提供に努められたい」との意見・要望でした。</p> <p>個人的な感想ですが、委員長報告で、赤江小学校の屋内運動場の復旧工事について、積算根拠など、質疑がないとわかりづらい部分が見受けられたという意見がありました。しかし、常任委員会の中では学校施設課に対する質疑がなかったため、議会事務局に、そのような意見・要望が挙げられることについて疑問に思うことはお伝えしたところです。当局としては、丁寧に説明したという思いはありますが、実際には、委員の方はわかりづらいと感じたのかもしれない。詳細は</p>

	定かではありませんが、今後とも、しっかりとした説明に心がけたいと思っています。報告は以上です。
西田教育長	ただいま説明のありました、報告第45号について、ご質問はございませんか。
委員	なし。
西田教育長	他にないようでしたら、次に、報告第46号「新型コロナウイルス感染症に係る対応について」事務局から説明をお願いします。
迫田教育局長	<p>報告第46号「新型コロナウイルス感染症に係る対応について」、ご説明します。</p> <p>「当日配布 報告第46号 別紙1」の「1 小・中学校における感染拡大防止対策について」ですが、小・中学校及び教育委員会事務局における感染確認状況については、別紙2をご覧ください。</p> <p>令和4年10月24日から11月13日までの感染状況について、まとめています。10月24日以降は、57校で児童185名、生徒98名、教職員10名、事務局職員1名の計294名の感染が確認されています。</p> <p>次に、臨時休業及び学年閉鎖についてですが、いずれも該当はありませんでした。</p> <p>次に、学級閉鎖です。「4 学級閉鎖」の表のとおり10月25日から28日、11月7日から9日の間に学級閉鎖が行われたクラスがありました。</p> <p>また、感染者集団（クラスター）の確認状況ですが、感染者集団は確認されていません。</p> <p>資料は、あらためて別紙1をご覧ください。「2. 学校生活・部活動及び教育委員会所管施設の対応について」です。11月8日に、感染警戒圏域（オレンジ圏域）から感染急増圏域（赤圏域）に変更されたところですが、学校等の対応は、10月5日に「医療緊急警報」から「医療警報」へ変更された時点と変更ありません。</p> <p>資料の説明は以上です。</p>
西田教育長	<p>最近、感染が少しずつ拡大しているようですね。ただいま説明のありました、報告第46号についてご質問はございませんか。</p> <p>他にないようでしたら、会次第「5 その他」に移らせていただきます。委員の皆さまから、情報提供等がありましたら、お願いします。</p>
委員	なし。
	ないようでしたら、その他報告の『(2)「未来の教室」教育フォーラムについて』、事務局から報告をお願いします。
川邊企画総務課長	<p>『(2)「未来の教室」教育フォーラムについて』、ご説明します。</p> <p>資料の行事予定にも記載がありますが、12月21日(水)に、『「未来の教室」教育フォーラム』を開催します。</p> <p>資料の行事予定には、佐土原総合文化センターを会場として記載していますが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し、オンラインで開催することとしました。</p> <p>当日は、本教育委員会教育CIOである神野元基氏を講師及びファシリテーターとしてお招きし、AI型ドリル教材キュビナの活用や授業時数特例校での事例紹介、また、小・中学校の教職員の方々との意見交換会を実施する予定です。</p> <p>教育委員の皆様には、後日、担当者よりLog oチャットを利用して連絡しますので、参加の可否やその方法につきまして、ご回答くだ</p>

	さいますよう、よろしくお願ひします。説明は以上です。
西田教育長	よろしくお願ひします。ただいまの説明に対し、ご質問はございませんか。
委員	なし。
西田教育長	他にないようでしたら、次に、会次第「6 次回教育委員会について」、事務局から説明をお願ひします。
川邊企画総務課長	次回定例会は、令和4年12月23日（金）、13時40分から予定しています。ご出席のほど、よろしくお願ひします。
西田教育長	よろしくお願ひします。 続きまして、会次第「7 行事予定」について、事務局から説明をお願ひします。
川邊企画総務課長	（ 行事予定説明 ）
西田教育長	以上をもちまして、第11回定例会を終了します。